

## 平成 27 年度 グループホーム『第一大山荘』事業報告

### 1. 入居者の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	氏名	性別	年齢	入居年	日中活動先
1	Aさん	男	66	平成 14 年 10 月	四季の郷（生活介護）
2	Bさん	男	59	平成 14 年 10 月	大山ファーム（就労継続支援B型）
3	Cさん	男	64	平成 21 年 10 月	大山ファーム（就労継続支援B型）
4	Dさん	女	49	平成 14 年 10 月	大山ファーム（就労継続支援B型）
5	Eさん	女	59	平成 22 年 5 月	パルステック工業株式会社就職

※H27 年度の入退去はなし。

### 2. 支援の状況

- グループホームでは、社会福祉法人昴会の基本理念に沿って「生き生きとした暮らしの実現」、「地域での主体的な暮らし」を目指し支援を行った。グループホームが他人との共同生活の場でもある以上、お互いにある程度のルールを設けることはあったが、「利用者一人ひとりの暮らし」を基本に、支援計画に沿った個別支援、本人の生活スタイルや自由、要望に応えることを大切にした。
- 支援体制としては、管理者、世話人（パート職員 1 名）、補職職員（1 名）が日常生活支援に当たり、地域生活を送る上で必要な買い物などの外出支援、食事支援、通院付添等の医療支援の他、相談事やメンタル面のケア、日中活動場所との連絡調整など多岐に渡った。また、バックアップ施設の四季の郷職員、日中活動先の大山ファーム職員、パルステック工業の担当者とも連携・協力して支援を行った。
- 課題としては、少数職員体制で支援を行なっているグループホームでは、職員個人の経験や知識、生活観が支援内容に直結しやすい特性があるため、職員間で支援目標や方針の共有・理解を図るよう、小まめな情報交換・意見交換を心掛けた。また、共同生活の難しさとして、利用者間の人間関係や過度な干渉に伴うトラブル・苦情が時折発生し、対応に苦慮するケースもあった。
- 今年度については、喫煙している入居者の寝たばこが大きな課題となった。これまでも対応してきた事柄でしたが、より一層必要な状況となったため、改めて本人・保護者・関係者と相談・協力しながら取り組みを進めているところである。
- 家族（成年後見人等）とは、面談や必要な連絡、帰宅等の機会を通して連携を保った。

### 3. 余暇支援

- 第一大山荘全体での行事は計画していないが、第二大山荘・第三大山荘や昴会の各事業所行事、地域の行事等に関する情報提供を行い、希望に応じて参加させてもらった。地元大山町の一員としての認知度も高くなり、協力・支援も大きくなってきた。
- 「わかふじスポーツ大会」へ 4 名の入居者がエントリーし、フライングディスク競技（残念ながら悪天候のため中止）とボウリング競技に出場した。

### 4. 健康支援

- 毎日の検温と血圧測定、年 2 回の健康診断を通して健康管理に努めた。また、疾患のある入居者のために日常的な服薬管理、通院支援を継続した。
- 感染対策として、インフルエンザ予防接種及び日常的な予防に努めた結果、今年度はインフルエンザを発症する入居者の方は見られなかった。ただ、日中の活動先においてインフルエンザが流行したこともあり、引き続き対策に取り組んでいきたいと考えている。

### 5. 防災の取り組み

- 防災訓練実施状況

5 月 29 日	・夜間の避難訓練
6 月 17 日	・法人防災訓練（各事業所合同訓練）

9月10日	・火災、停電対応・地震・風水害訓練
11月29日	・大山町地域防災訓練へ参加
※	・各通所先の防災訓練へ参加（日中災害を想定）

・引き続き、地域との連携強化及び夜間・風水害を想定した訓練が今後の課題

#### 6. 職員研修

・職員会議内の時間を使い、「虐待防止」「感染予防」をテーマにした研修を実施。